



味坂っ子だより

◆人権学習参観・学級分会へのご参加、ありがとうございました！

9日(金)の学習参観・学級分会には、多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。また、事前にお配りしたお便りもご持参いただき、ありがとうございました。これまでの学級分会のなかで一番参加者も多く、学級分会を進めていただいた学級委員さんにも重ねて御礼申し上げます。

私たちがめざす子どもの姿はいたってシンプルです。それは「**差別をしない**」「**差別を受けない**」「**差別をさせない**」子どもたちです。**自分を大切に**にし、**同じように周りも大切にできる子どもたち**です。

差別とは、**部落差別**だけではなく「**部落差別をはじめとするあらゆる差別**」のことをいいます。残念ながら、現代社会においては障がい者差別、男女差別、外国人差別等々、様々な差別があります。そのなかでも、**見ようとしない**と**見えないのが部落差別の難しさ**であると考えています。それは、部落差別が人の意識を利用して、政治のために、人の手によってつくられた日本固有の差別であるからです。長い歴史の中で、私たち日本人は同じ人間の中に「ちがい」をつくり、差別し続けてきました。そのために、地域の中で、家庭の中で、差別意識が人々の意識の中に残ってしまっているのです。それは、「**差別のバトン**」と言えるかもしれません。しかし、**この「差別のバトン」は、正しいことを学び、行動に移すことにより、無くしていくことができるのです。**

6年生になったら、必ず**部落問題学習**に取り組みます。ですから、参観でご覧いただいたように、6年生になるまでに「**差別を見抜く力**」「**おかしいことをおかしいといえる力**」を段階的に高めます。つまり、人権感覚を高めていきます。

「障がい者差別や男女差別はおかしいから無くしたい」という考えと同じように「**部落差別はおかしい。だから無くさないといけない**」と考えて欲しいし、学校だけでなく、家庭でも子どもたちと一緒に考えていただきたい、ですから学級分会で**部落問題**について話をさせていただきます。

部落差別だけを取り立てて学んでいるように皆様に誤解を与えてしまっているのは、私どもの反省です。お詫びいたしますとともに、差別をなくすために、これからも一緒に学んでいきましょう。

◆「CAP保護者セミナー」へのご参加も、ありがとうございました！

「CAP保護者セミナー」にもたくさんの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。地域の方々にも多くご参加いただきました。講座の中では「**子育てをこじらせないコツ7ヶ条**」と題して、楽しくシンプルに子育てをするコツを、笑いも交えながらお話いただきました。「CAP 保護者セミナー」は毎年、人権参観・分会の日に行っていますので、来年もよろしく願います！



【6年生 龍安寺の石庭】



【5年生 権利の山登り】

